

玉村町教育相談室

子供の心の問題やことばや聞こえ、情緒面での心配など、お子さんの教育等の悩みなど、一人で悩まずお気軽にご相談ください。

月～金曜日 9:00～16:00
☎65-0081
☎65-0091

来所相談も実施しています。
住所 下新田187番地

玉村町通級教室

ことばの誤り・ことばの繰り返し・ことばの発達が遅い・落ち着きがない・人とうまく関われない・学習に偏りがあるなどの相談や指導をする教室です。

月～金曜日 8:30～17:00
☎20-4500

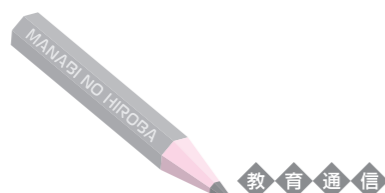
玉村町ふれあい教室

学校に行きたくても行けずに困っている小中学生の不安や悩みを受け止め、心が触れ合う喜びを体験する場です。

月～金曜日 9:00～15:00
☎65-0091



役場西側



教育通信
MANABIのひろば

生き生きと活動に取り組む玉幼っ子

玉村幼稚園

平成31年4月に玉村幼稚園と南幼稚園が統合し、新たな玉村幼稚園がスタートしました。園児数は153名で年少児42名、年中児56名、年長児55名（各学年とも2学級）で構成され、県内の公立幼稚園の中でも大規模園となりました。

大人数であるからこそできることや良さを生かしながら、本園の教育目標「豊かな感性をもち、生き生きと活動に取り組み、心身ともに健全な子供を育てる」を目指し、教職員全員で日々の保育に取り組んでいます。統合後1年目の今年度は、「子供たちが新たな環境の中で、自己を発揮しながら生き生きと園生活を楽しむ」ことを具体目標として掲げ、保育を進めています。

入園、進級当初こそ戸惑いもあった子供たちですが、今では園内の環境に主体的に関わり、友達と一緒に伸び伸びと遊んでいます。特に、砂場でのダイナミックな遊びや、さまざまな素材、用具を使ってイメージしたものを作る製作遊び、季節を感じながらの虫探しなどでは学年の枠を超え、異年齢児同士の自然な触れ合いもたくさん見られます。

今年の夏は梅雨明けが遅く、子供たちの大好きなプール遊びがなかなかできませんでした。そこで園庭にミストを設置したり、水鉄砲を準備したりするなど水遊びが楽しめる環境を準備しました。すると、さっそく裸足になり、水の世界に入り込んでいく子供たち。水の感触や気持ちよさを全身で感じながら思い切り遊ぶ姿は、まさに生き生きとしていました。

幼児教育は環境を通して行う教育、また幼稚園は遊びを通して総合的な指導を行う場です。今後も子供たちの活動が生き生きと楽しいものになり、その経験が小学校以降の学びに向かう力につながっていくように、環境の構成や援助に努めていきます。



令和元年度 玉村町中学生海外派遣事業

本年度で25回目となった「玉村町中学生海外派遣」が、8月16日～25日の10日間にわたって実施されました。玉村中学校と南中学校の3年生16名がアメリカ・ワシントン州エレンズバーグにおいて、生徒2人1組で、8家族に分かれてホームステイをしました。言葉や生活習慣に違いがあっても、たくさんのお話を学ぶことができました。

◇8月16日(金) 玉村町出発、エレンズバーグ到着、ホストファミリーとの対面

成田空港から約9時間のフライト。その後2時間バスに乗り、エレンズバーグに向かいました。ホストファミリーとの対面では、ホストファミリーの温かい笑顔に迎えられホームステイが始まりました。



◇8月17日(土)、18日(日) ホームデー(ホームステイ先の家族と過ごす日)

いきなりのホームデー。緊張がまだほぐれない状況の中、それぞれのホストファミリーと2日間過ごしました。生徒たちは各家庭のキッチンを借り日本の食事を作ってごちそうしたり、一緒に出かけたりしました。この2日間でホストファミリーと交流を深め、ぐっと距離を縮めることができました。

◇8月19日(月) 市内散策とセントラルワシントン大学でミニ講義体験

\$1ショップで買い物体験したり、エレンズバーグの歴史博物館で歴史を学んだりしました。玉村ローズガーデンのあるセントラルワシントン大学を見学する中で、熱帯の植物についてと爬虫類について、英語での講義を体験しました。

◇8月20日(火) レーベンワース(ドイツ村)での活動

街並みを歩いたり、買い物をしたり、自分たちだけで食事をしたりしました。全てが生徒たちにとっては初めての体験であり、ドキドキしながらの英語での食事を注文することも貴重な体験でした。

◇8月21日(水) ミドルスクール(中学校・高校)の見学

キティタスセカンダリースクールに見学に行きました。中学校と高校の生徒が通っている学校でした。日本とは違う学校文化に触れることができ、とても勉強になりました。この頃になると、英語の説明に英語で質問をするということも見られるようになりました。

◇8月22日(木) さよならパーティー

生徒たちみんなで協力し合い、パーティーのすべてを英語で進行しました。日本の文化や伝統的な遊びをグループで紹介したり、日本で流行っている踊りや毎年踊っている南中ソーラン、漢字伝言ゲームを披露したりして10日間の感謝の気持ちをたくさん伝えることができました。

◇8月23日(金) エレンズバーグ出発

ホストファミリーと再会の約束をして、涙のお別れをしました。この貴重な体験はきっと、自分に、学校に、玉村町に生かされると思います。

◇8月24日(土) シアトル出発 25日(日) 帰国

日本とアメリカの違いを感じるとともに、それぞれの良さを感じることもできた10日間でした。生徒たち16名全員にとって生涯忘れることのできないものになりました。多くのことに挑戦し、日本では体験できないことをする中で、いろいろな発見をして、一回りも二回りも成長しました。

教育通信

MANABI

の
ひろば

学校教育課 ☎64-7713

教育委員会HP (町のHPから入れます)
<http://www.town.tamamura.lg.jp/>

